

地域包括支援センターだより

高齢者の生活を支えます

久米島町地域包括支援センターは、保健師等の専門職が中心となって、住み慣れた地域で高齢者の生活を支える総合機関です。

センターでは、総合相談窓口として、介護のことだけでなく、認知症や生活上の悩み、消費者被害の相談など、様々な相談をお受けいたします。



業務内容

①第1号介護予防支援事業

介護認定申請後、要支援と判定された人に対して、利用者の心身の状況や家庭環境などを確認しながら予防ケアプランを作成します。

②総合相談支援事務

高齢者の様々な相談を受け、関係機関と連携をとりながら、問題解決に取り組みます。

③権利擁護業務

認知症などにより、判断能力が難しくなっている方への金銭管理の相談や、高齢者虐待(疑いを含む)の相談を受けています。

④包括的・継続的ケアマネジメント業務

地域の医療機関等とネットワークを構築し、高齢者にとって安心して、暮らしていける地域づくりを進めています。

⑤介護予防事業

運動機能の向上、栄養改善、口腔機能の向上を目的に、介護予防教室を実施しています。

メンバー紹介

■保健師

安里 佐智子(あさと さちこ)
大城 健(おおしろ たける)

■看護師

荒井 浪子(あらい なみこ)

■准看護師

棚原 郁代(たなはら かよ)

■生活支援コーディネーター

平良 仁(たいら ひとし)

■事務職

小村 優季(こむら ゆうき)

久米島町地域支援センター

場所 仲里庁舎福祉課内

電話 985-7124

時間 8:30~17:15

訪問の際は
お電話ください。

目指せ！健康あいらんど久米島

～久米島健康プロジェクト～

「大人の8割が糖尿病とその予備軍」それが分かったのは平成20年度から始まった特定健診の結果からでした。国が、医療費の高騰から医療保険が破綻するのではないかと危惧したことから、予防できる疾患の発症を抑え医療費の抑制を図るという視点で特定健診・特定保健指導がスタートしました。

10年経った今、国は健康寿命の延伸を掲げ私たちは自分の健康が気になり健診を受けるようになりました。

久米島町の糖尿病率はやはり高く、将来が危惧されます。

それでも、平成20年度の肥満率48%から平成28年度45%に減少していることを考えると少しずつ改善しているのかもしれない。

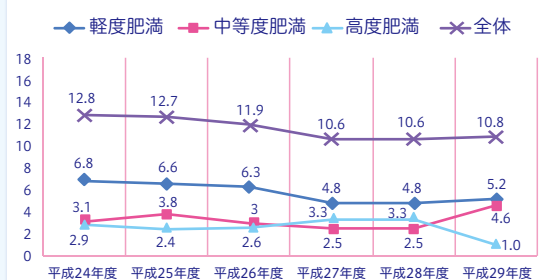
大人の不健康は、そのまま子どもに影響し子どもの3割弱が糖尿病予備軍が見られた平成21年度の「子ども健診」。あれから、9回目の「子ども健診」を現在実施しています

平成21年頃は久米島町の子どもの肥満は、全国の1.5倍～2倍でしたが、現在は減少傾向にあります。

少しの努力を継続することで、変化を生み出していきます。

お問合せ ◀ 福祉課 健康づくり班 ☎ 985-7124

小学生の肥満率の推移



中学生の肥満率の推移

